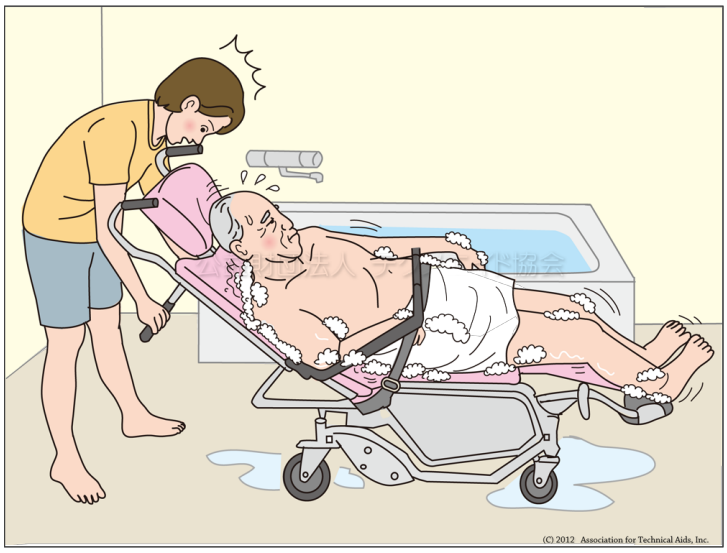
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：99
リクライニングさせたとき、利用者の身体が前方へすべり落ちそうになる

場面の説明

洗体中、泡のついたすべりやすい状態でリクライニングをしたところ、利用者が前方にすべり出した



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

入浴などすべりやすい環境の下では、リクライニングで寝かせるときだけではなく、起こしていくときにも体が前方にすべりやすくなります。それを防止するためには、座面のティルト機能を有効に使うと効果的ですが、股関節の曲がりにくい利用者ではうまく機能しないケースもあり、ベルトなどを併用することもあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：洗体中にリクライニングさせた
モノ：ティルト機能のないシャワーキャリーだった
環境：全身に石けんがついてすべりやすかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.